

平面図形 作図の応用問題 2

(1) あとの図のように、直線 l とその直線上にない点 A がある。この図をもとに、下の【条件】をみたすひし形 $ABCD$ を、【手順】にしたがい、定規とコンパスを使って作図しなさい。ただし、作図に使った線は残しておくこと。

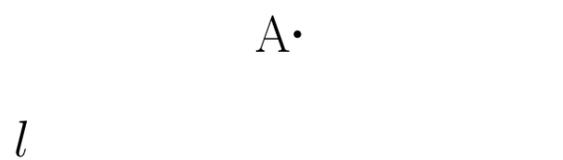
【条件】

ひし形 $ABCD$ は、直線 l を対称軸とする線対称な図形で、 $\angle ABC = 60^\circ$ である。

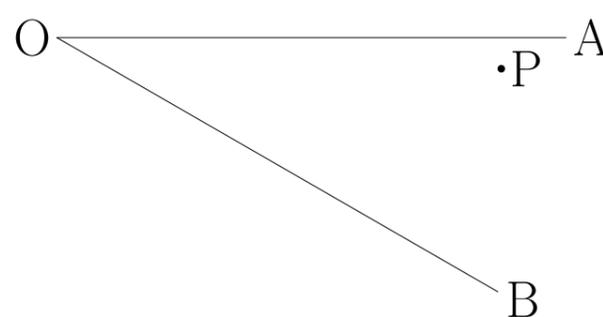
【手順】

はじめに、点 C を作図し、次に、直線 l 上に点 B と点 D を作図し、ひし形 $ABCD$ をつくる。

(山形)



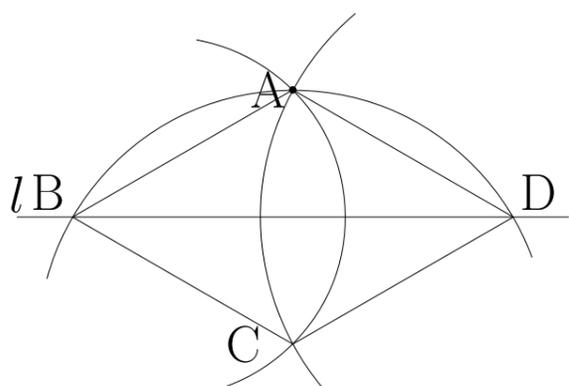
(2) 右の図で、点 P を通る直線と線分 OA 、線分 OB との交点をそれぞれ点 C 、点 D とするとき、 $OC=OD$ となる二等辺三角形 OCD を定規とコンパスを用いて作図しなさい。なお、作図に用いた線は消さずに残しておきなさい。



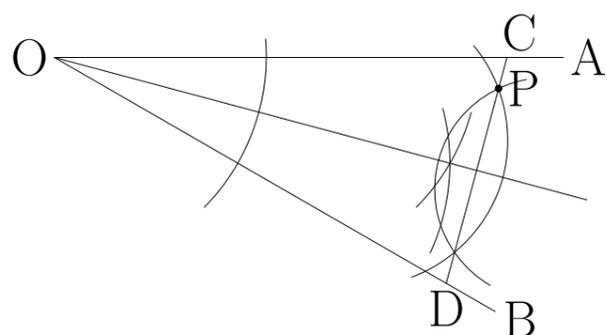
(三重)

平面図形 作図の応用問題 2 解答

(1)



(2)



●ポイントの確認

ヒロ：作図の問題を解くには図形の性質を“きちんと理解”しておく必要がある。“あいまいな理解”だと、(2)のような問題でつまってしまうので気をつけよう。